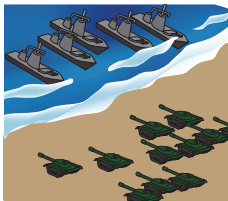


テロ・武力攻撃への備え

武力攻撃事態

着上陸侵攻

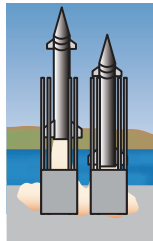
着上陸侵攻は、沿岸部が侵攻目標になりやすく、国民保護措置を実施すべき地域が広範囲で、比較的長期に及ぶことがあります。



弾道ミサイルによる攻撃

攻撃目標の特定が極めて困難で短時間での着弾が予想されます。

また、弾頭の種類に応じて、被害の様相や対応が大きく異なります。



ゲリラや特殊部隊による攻撃

狭い範囲で突発的に被害が発生することが考えられます。攻撃目標が重要な施設の場合は、大きな被害を生じるおそれがあります。また、ゲリラ側が核・生物・化学兵器や放射性物質を散布することにより放射能汚染を引き起こします。



航空攻撃による攻撃

兆候を察知することはできませんが、攻撃目標を特定することは困難です。

都市部の施設やライフライン等に影響を与える重要な施設が攻撃目標となります。



緊急対処事態

テロ・武力攻撃の危険

原子力事業所、工業地帯等の重要施設及び多数の人が集合する競技場やターミナル駅等の施設において、多数の人を殺傷する行為が発生します。



化学剤等による攻撃

化学剤、生物剤、核物質を用いた攻撃で、人体に影響を与えるため、特別な対応が必要になります。



警報が発令されたら

情報の収集

防災行政無線、テレビ、ラジオ、インターネット等から、情報を収集しましょう。

屋内にいる場合

ガス、水道の使用をやめ換気扇を止め、ドアや窓を閉め、目張りにより室内を密閉し、窓のない中央の部屋か2階に移動しましょう。

屋外にいる場合

速やかに危険地域から離れ、堅ろうな建物及び密閉性の高い室内又は、風上の高台など安全な場所に避難しましょう。

避難指示が出されたら

- 避難の指示が出された場合、指示に従い落ち着いて行動しましょう。
- 戸締りをして避難しましょう。
- 丈夫な靴を履き、長袖・長ズボンを着用しましょう。
- 非常用持出品を持参し、身分を証明できるものを持ちましょう。

自然災害と同様に非常用持出品を用意して、避難所の場所や連絡方法などを家族で話し合っておきましょう。



警戒区域が設定されたら

- 特に必要があると認めるときには、住民の生命または身体に対する危険を防止するため警戒区域の設定を行います。
- 警戒区域が設定された場合には、防災行政無線、市防災ウェブサイト、市防災メールマガジン、SNS等を通じて周知します。
- ロープ及び掲示板等で警戒区域を明示しますので、警戒区域からの立ち退き及び立ち入りの禁止をお願いします。

内閣官房 国民保護ポータルサイト

弾道ミサイルの落下時の行動やサイレン音が確認できます。

